



ごみ焼却工場周辺における 土壌の放射能濃度調査結果について

1 趣 旨

災害廃棄物の受入れを検討するに当たり、試験焼却前後のごみ焼却工場（日明工場、新門司工場）周辺の土壌中の放射能濃度について、測定を実施しましたので、その結果を報告します。

なお、皇后崎工場では、試験焼却を行わなかったため、試験焼却前の測定結果のみを示します。

2 実施日

試験焼却前 5月22日（火）

試験焼却後 5月29日（火）

3 土壌採取場所（地図参照）

日明工場周辺 …… 日明臨海公園（小倉北区西港町）

新門司工場周辺 …… 浦中西公園（門司区恒見1291番地）

皇后崎工場周辺 …… 洞北緑地（八幡西区本城5丁目）

4 測定方法

- ・ 各公園で5ヶ所から土壌を採取・混合し、ゲルマニウム半導体検出器により測定
- ・ 測定した放射性物質は、セシウム134及び137、カリウム40

5 測定結果

市内の土壌において、セシウム134は不検出でしたが、セシウム137が僅かながら含まれていることが確認されました。

半減期が2.1年と短いセシウム134が不検出であったことから、セシウム137（半減期30年）は、1950～1960年代に行われた大気圏内核実験等に起因するものと推定されます。

また、セシウム134が不検出であったことから、同様に今回の試験焼却の影響は全くなかったものと考えられます。

	試験焼却前 (5月22日)			試験焼却後 (5月29日)		
	セシウム 134	セシウム 137	カリウム 40	セシウム 134	セシウム 137	カリウム 40
日明臨海公園	不検出 (<0.46)	0 . 6 3	7 8 0	不検出 (<0.40)	0 . 8 3	7 2 0
浦中西公園	不検出 (<0.38)	1 . 3	5 6 0	不検出 (<0.35)	0 . 8 5	5 1 0
洞北緑地	不検出 (<0.35)	不検出 (<0.38)	6 7 0			

- ・ 単位は、ベクレル / k g 乾燥土
- ・ 「不検出」とは、検出下限値未満を、また、() は検出下限値を表します。

土壌の調査地点

